

## 通行止めが続く春国岱の木橋 今後の整備はどうなるのか？

春国岱にかけられた木道のうち木橋部分が、今年2月ごろ風連湖の結氷により破損しており、通行止めの状態が続いています。8か月以上経過していますが、市によると現在、施工方法等について検討中とのことでした。

春国岱の木道はこれまでも低気圧などにより、度々破損されてきました。2017年にクラウドファンディング型ふるさと応援寄付金によって全国から応援をいただいて全面修復されています。特殊な工法が必要のため、修繕費用は多額になりますが、あらためてしっかりとした対応をするべきです。



また北海道が管理している入り口の駐車場から続く木道部分についても、板材の破損がひどく、上からコンパネを何十枚を張り付けて補修していたり、側面の丸太も破損して落ちている箇所もあります。歩く人がつまづくのではないかと心配になります。さらに駐車場の柵についても朽ちてボロボロの状態です。

景色や動植物を観てもらおうとは言え、そこにある人工物が「廃墟」のような状態では、訪れる方がガッカリするでしょう。

観光の観点からも、市と北海道が連携して、しっかりとした対策をとっていくことが必要だと思います。



## 春国岱の一斉清掃が行われました 根室ワイズユースの会 主催



11月6日(土) 根室ワイズユースの会が主催する「春国岱一斉清掃活動」が行われ、会員など約30名が参加しました。

この清掃活動は、風連湖・春国岱の保護活動の一環として、毎年実施されているそうです。昨年は新型コロナウイルスの影響で実施できなかったものの、今年は一般市民への参加呼びかけを行わずに、根室ワイズユースの会員と家族へ案内を行ったとのことでした。

当日は会員など21名、会の事務局(市農林課)あわせて約30名が参加しました。

はじめにネイチャーセンターのレンジャーから、海洋プラスチックごみの問題について講義を受けた後、参加者は1時間程かけて木道周辺から海岸線付近のゴミ、約90kgを拾い集めました。

空き缶等の一般ごみは、外出控への影響なのか、例年よりも少なかったかもしれません。

事務局の話によると、これまで年1回、秋に行っていたが今後は、「春先の雪解け後と年2回ぐらい清掃活動を行った方が良いのでは？」という意見もあったそうです。

いずれにしても、大切な自然環境を次の世代にしっかりとつなげていきたい、と思います。

## 市じん芥焼却場の建設費

## 55億〜95億円の想定に

根室市では大型の建設事業として市役所本庁舎のほかに、「じん芥焼却場」の建設が控えています。

現時点では建設予定地も、どのようなゴミ処理方式とするかも決まっていませんので、建設事業費も未定です。

現在策定中の「廃棄物処理施設基本構想(案)」では、3パターンの処理方式を示し、その概算事業費を55億円・63億円・95億円と見込んでいます。

国等の補助金額と市が起債(借金)でできる金額は上限が決められているため、それ以外に自己資金が必要になります。またその他に調査費や旧施設の解体費用など様々な経費もかかります。

いずれにしても、多額の財源が必要になることは間違いありません。手元に資金が無いと工事出来ないため、あらかじめ基金(貯金)積立など何らかの事前準備が必要かと思えます。

様々な公共施設の新規建設に

活用可能な基金が必要では？

根室市では、老朽化する施設などをどうしていくのか、まちづくりの将来像を描く「グランドデザイン」を策定しながら、そうした構想を詰めている最中です。

現在ある様々な公共施設も今後、改築・建て替え・統合・移転など様々なパターンが考えられますが、いずれにしても、工事には相応の財源が必要となる可能性があります。

将来構想の実現にむけて、公共施設の新規建設に活用できる新たな基金の造成も、今後は検討していった方が良く考えます。

